

Press Release:2012.5.15

回帰 recurrence

花岡 伸宏 展

2012年6月2日(土) — 6月17日(日) 11:00~19:00 ※最終日18:00まで・月曜休廊

ご案内

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では、2012年6月2日から17日まで、「回帰:recurrence 花岡伸宏」展を開催いたします。

花岡伸宏(はなおか・のぶひろ/広島・1980~)は、2006年に京都精華大学大学院を修了後、近年までおもに木彫による作品を制作・発表し、2009年には「第12回岡本太郎現代芸術賞展 特別賞」を受賞するなど、その特徴的な作品はこれまでに多くの注目を集めています。

「飯の棒」は木彫の人物像に捻り込まれて貫通し、仏像の上部はバネに引っ張られ、少女像の左肩ははずり落ちて飯の塊に突き刺さり、開けられた穴からは押しピンを含んだ糊状の飯が押し出される……。

おもに木や樹脂を用いた花岡作品の多くは、まるで無関係な要素がコラージュされ、またそこに何らかのアクション(の痕跡)が残されています。

素材感や触感、大きさや色、あるいは臭いや食感といった鑑賞者の記憶や経験まで、その背景や文脈の異なるそれぞれの要素は、それらが相互に特定の文脈や意味を持たないよう花岡により選び出されたものであり、それぞれが絶妙な差異とバランスを保ちながらひとつのカタチに統合されつつも、なお「意味を持ち続けられない」ことで、そこに極めて特異な状況をつくり出していると言えます。

鑑賞者は花岡作品を前にした時、一見するとそのトリッキーなユニークさに驚き、思わず笑みを浮かべてしまいます。しかし、それは花岡により入念に吟味・制御されてつくり出された「いつまでも・どこまでも脈絡の無いもの:状況」を前に、事態を掴みかねて困惑し、思わず浮かべてしまう「思考停止の微笑」のようであると思えます。

そして、鑑賞者はそこに意味を求めて目を凝らし、思考を巡らせ、それでも状況を掴めないまま作品の前に佇むうち、次第に思考はどこか無意味なものであるかのような感覚を覚えます。また、同時に目の前の「得体の知れない」コトへの不安や恐れすら感じることもあるのではないのでしょうか。

様々な要素を見極め、彫り出し、削ぎ落とし、ひとつの造形に統合された花岡の作品は、鑑賞者それぞれに、目の前の事象が時にまったく違って見える・感じるショッキングな作品体験をもたらします。

現実の質量や量塊を持つ彫刻が本来持ちうる特性を誠実に用いながら、近年にはそのバランスは絶妙に、造形はより巧妙になりながらも、より「彫刻」の本質的に迫るかのような展開を見せています。

自らが「回帰」と名付けた本展では、それら近作を含め、これまでの過去作から自身がピックアップした作品により構成します。ユニークな作品体験とともに、現在に至る花岡作品の展開を概観いただけるのではないのでしょうか。



【画像01】
「垂れた絵の具は飯の桶にたまる」
2010 190×75×53 cm
木、樹脂、油絵具、アクリル絵具、他 (撮影:丸山桂)

Press Release:2012.5.15

回帰 recurrence

花岡 伸宏 展

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、Gallery PARC [galleryparc@grandmarble.com]迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 回帰:recurrence 花岡伸宏 展

出品作家 花岡 伸宏(はなおか・のぶひろ)

会 期 2012年6月2日(土) — 6月17日(日) 11:00~19:00 ※最終日18:00まで・月曜休廊

主 催 ギャラリー・パルク

会 場 Gallery PARC(グランマーブル ギャラリー・パルク)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ]店舗内2階

【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com 【HP】http://www.galleryparc.com

料 金 無料

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分
三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

展示内容 【彫刻】

おもに木彫を中心に作品を制作する花岡伸宏による個展。
近作・過去作品をおよそ5点に加え、映像作品などをあわせて展示。

お問い合わせ: Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク] (正木・永尾)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 2F

【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com



【画像02】

パネの引っ張り

2008 140×190×45 cm

木、樹脂、パネ、机、他(撮影:表恒匡)

Press Release:2012.5.15

回帰 recurrence

花岡 伸宏 展

【展覧会について:花岡伸宏】

脈絡の無いもののイメージ同士を組み合わせることで、それらに付随する意味や価値、物語性などを曖昧にするという作業を行っています。

人は何かものを見た時に必ず、自分の今までの経験や知識と結びつけて、その存在を理解しようとそのものが何であるか判断したり、納得しようとしています。しかし私たちの日常の中で稀に過去の経験や知識が通用しないもの、又は場面と遭遇することがあります。時にその存在(状況)は不条理であったり、人に不快感を与える事もあるでしょう。私はこのように前後の文脈を超え意味を失っても尚、形として存在し続けるものに心を揺さぶられます。

今展覧会では木彫による立体を中心に、平面、映像を過去作品と共に展示致します。

【作家略歴】

花岡 伸宏 HANAOKA Nobuhiro

1980年 広島県生まれ

2006年 京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程修了

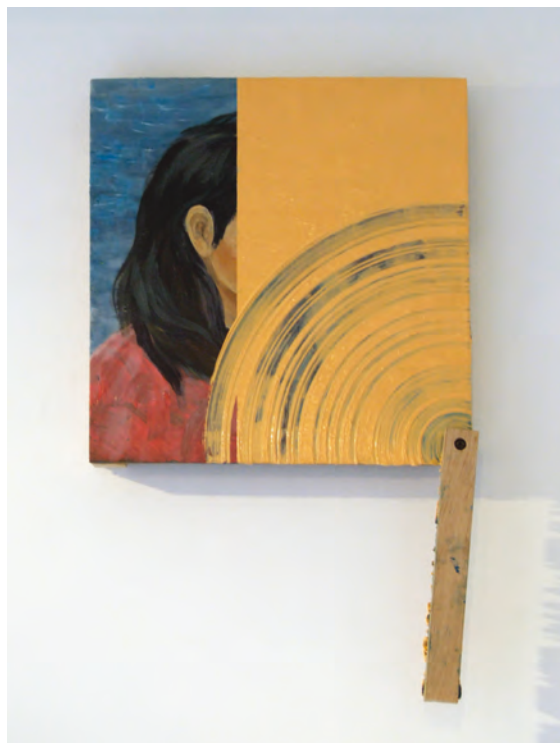
おもな展覧会

【個展】

- 2012 「入念な押し出し」(ギャラリー恵風 京都)
- 2011 「an error message」(STREET GALLERY 神戸)
「不在のための構成」(ART SPACE-ZERO ONE 大阪)
- 2010 「ピンセットの刺さった円柱の飯は木彫の台を貫通する」
(ギャラリー恵風 京都)
- 2009 「ずれ落ちた左肩は飯に刺さる」(CPG/超能力 京都)

【グループ展】

- 2011 「medias conection vol.2」(此花メデア 大阪)
「激凸展」(unseal contemporary 東京)
- 2010 「VIDEO RELAY 2010」(MUZZ PROGRAM SPACE 京都)
「Art Camp 2010」(サントリーミュージアム 天保山 大阪)
「ボクラノミカタ」(ガレリアフィナルテ 名古屋)
- 2009 「第12回岡本太郎現代芸術賞展」〈特別賞〉(川崎市岡本太郎美術館)
「After School・放課後の展覧会」(元立誠小学校 京都)
- 2006 「JEANS FACTORY ART AWARD 2006」〈優秀賞〉(高知市文化プラザ かるぼーと)
- 2005 「群馬青年ビエンナーレ'05」〈奨励賞〉(群馬県立近代美術館)



【画像03】
不在のための構成(女)
2011 35×58×5 cm
木、油絵具、他



【画像04】
入念な押し出し(布)
2012 130×60×60 cm
木、樹脂、ピンセット、画紙、顔料